

事業評価シート

番号 0440060 - 001

【1.基本情報】

事業名	施設整備				
担当部名	行政部	担当課名	競輪事業課		
未来地図政策				政策コード	0 - 0 - 0 - 0
実施方法	直営	補助の種類※		実施主体	岐阜市
実施期間	昭和24年度～	年度	根拠法令 関連計画※	自転車競技法	

【2.事業概要】

事業の目的	安定的な競輪開催や新規顧客獲得及び車券売上向上のため快適な環境に整備する				
事業の内容	競輪場施設の施設整備工事等				
事業の対象	何を	競輪場施設			
	誰に (対象者・対象者数)	競輪場来場者(H30 本場開催・場外開催合わせ631,875人)			
	どのくらい (具体的 数値で)	事業費 46,550千円			
平成30年度 (実施内容)	直流電源盤更新工事 29,141千円 競走路塗布工事 9,828千円 ほか				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	4,560	150	4,755	150	4,755	150
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	4,560	150	4,755	150	4,755	150

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	工事請負費	46,660	107,121	46,550
	委託料	374,760	0	9,720
	備品購入費	1,887	6,106	2,100
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
計(D)=B+C		423,307	113,227	58,370

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	427,867	117,982	63,125

【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	82,641	427,867	117,787
計(F)	82,641	427,867	117,787

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	345,226	-309,885	-54,662

【6.コストバランス】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	競輪場来場者	競輪場来場者	競輪場来場者
受益者数	500,296	586,150	631,875
受益者負担額(千円)	入場料・車券売上ほか	入場料・車券売上ほか	入場料・車券売上ほか
受益者負担率(%)			
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	690	-529	-87

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開催日数(本場開催・場外開催合わせて)	単位	日
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	335	316	341
実績値	316	341	344

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	単年度決算収益		単位
	平成28年度	平成29年度	千円
目標値	300,000	300,000	200,000
実績値	270,085	117,015	294,383

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	施設整備は将来的にも競輪事業が安定した収益を確保し、事業継続を可能とするため実施するものである。 施設整備は原則として市が実施するものである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	競輪ファンの高齢化、レジャーの多様化など厳しい状況下において、30年度は昨年度に比べ一日当たり来場者数を上回った。 施設整備は原則として市が実施するものである。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	安定的な競輪開催のため施設改修や、顧客満足度向上のため快適な施設で競輪を楽しめるための施設整備は必要不可欠であり、営業活動収支は昨年度を下回る結果となったが、一般会計へ2億円を繰り出し市財政に寄与貢献することができた。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	車券売上による利益を施設整備として還元しており公平性は保たれている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	現状維持